新規中小企業データベース

仕様書



**目次**

[本ドキュメントについて 4](#_Toc415157318)

[表記について 4](#_Toc415157319)

[更新履歴 5](#_Toc415157320)

[(第1章 構成) 6](#_Toc415157321)

[**全体構成** 6](#_Toc415157322)

[**Web サイト** 6](#_Toc415157323)

[一般公開サイト 7](#_Toc415157324)

[管理用サイト 7](#_Toc415157325)

[**Web API** 7](#_Toc415157326)

[**データベース** 7](#_Toc415157327)

[ファイアウォール 8](#_Toc415157328)

[バックアップ 8](#_Toc415157329)

[**ストレージ** 9](#_Toc415157330)

[**タスク処理** 9](#_Toc415157331)

[過去データの削除 9](#_Toc415157332)

[郵便番号データの補完 10](#_Toc415157333)

[**外部サービス** 10](#_Toc415157334)

[DNS 10](#_Toc415157335)

[メールサーバー 10](#_Toc415157336)

[郵便番号API 10](#_Toc415157337)

[(第2章 機能仕様) 12](#_Toc415157338)

[**企業情報** 12](#_Toc415157339)

[創業年数 12](#_Toc415157340)

[公開と掲載 12](#_Toc415157341)

[削除確認 12](#_Toc415157342)

[重複チェック 13](#_Toc415157343)

[検閲ロック 13](#_Toc415157344)

[住所 13](#_Toc415157345)

[検索 14](#_Toc415157346)

[表示順序 15](#_Toc415157347)

[**ユーザー** 15](#_Toc415157348)

[ユーザーの種類 15](#_Toc415157349)

[ID、パスワード 16](#_Toc415157350)

[セッション 18](#_Toc415157351)

[アクセス制御 18](#_Toc415157352)

[**マスタデータ** 19](#_Toc415157353)

[エリアマスタ 19](#_Toc415157354)

[都道府県マスタ 19](#_Toc415157355)

[市区町村マスタ 19](#_Toc415157356)

[営業品目マスタ 19](#_Toc415157357)

[タグマスタ 20](#_Toc415157358)

[**メール送信** 20](#_Toc415157359)

[**その他共通事項** 20](#_Toc415157360)

[日時 20](#_Toc415157361)

[文字コード 20](#_Toc415157362)

[論理削除 21](#_Toc415157363)

[登録後の変更に制限のあるデータ項目 21](#_Toc415157364)

[入れ違い登録の抑制 21](#_Toc415157365)

[処理中表示 22](#_Toc415157366)

[テキストデータの表示 22](#_Toc415157367)

[存在しないデータの表示 23](#_Toc415157368)

[ページングの制限 23](#_Toc415157369)

# 本ドキュメントについて

本ドキュメントは、新規中小企業データベース（以下、本システム）の仕様を記載したものです。

# 表記について

本ドキュメント内で使用する表記方法について補足します。

|  |  |
| --- | --- |
| 表記 | 説明 |
| 『**ファイル名**』 | 別紙を示します。（ファイル名は拡張子を省略します。）  例）『**データ仕様-ER図**』 |

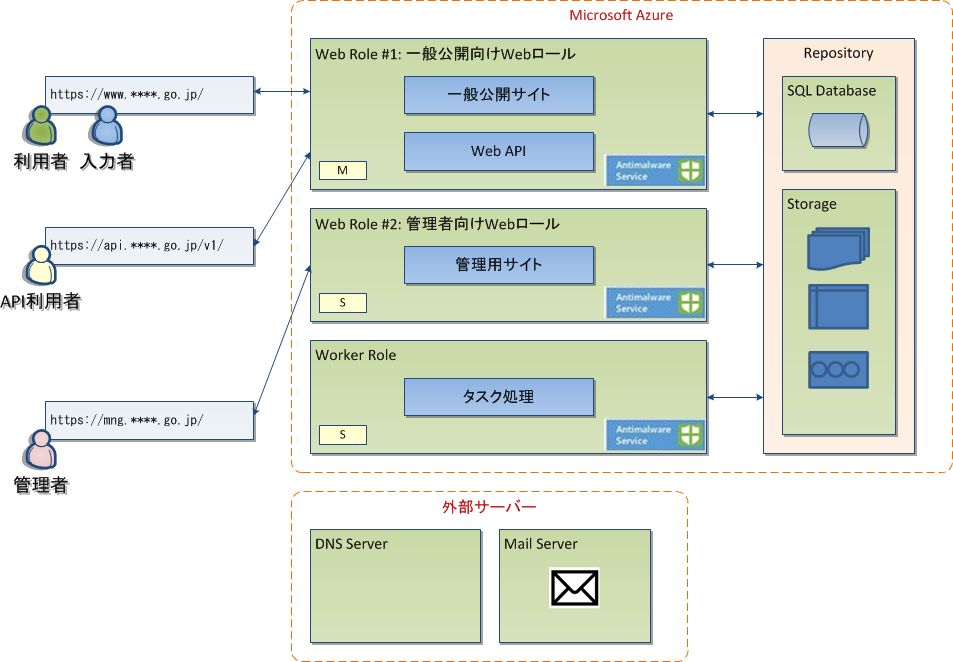
# 更新履歴

本ドキュメントの更新履歴について記載します。

|  |  |
| --- | --- |
| 日付 | 内容 |
| 2015-03-26 | 2015/03月リリース版 |
| 2015-02-02 | 第3回仕様調整会議向け版   * [郵便番号データの補完](#_郵便番号データの補完)　追加 * [郵便番号API](#_郵便番号API)　利用予定のAPIについて追記 * [住所](#_住所)　郵便番号APIが使用できない場合について追記 * [市区町村マスタ](#_市区町村マスタ)　マスタを持たないように変更 |
| 2015-01-26 | 第2回仕様調整会議向け版 |

# (第1章 構成)

## **全体構成**

****

本システムは、Microsot Azure上のクラウドサービスとして構成する。

* + 本システムのWebサイトとして、[一般公開サイト](#_一般公開サイト)、[管理用サイト](#_管理用サイト)を公開する。
  + 本システムのWeb API として、[Web API](#_Web_API)を公開する。
  + 本システムのデータは、[データベース](#_データベース)および[ストレージ](#_ストレージ)に格納する。
  + 本システムには、バッチ処理など、バックグラウンドで動作する[タスク処理](#_タスク処理)がある。

## **Web サイト**

Web サイトに関する共通事項を記載する。

* + Webサイトの利用は、Javascriptが有効であることを前提とする。Javascriptが無効な場合、その旨をページ上に表示する。
  + Webサイトはhttpsで公開する。
  + 対応ブラウザは下記とする。
    - Internet Explorer 8以上
    - Mozilla Firefox32以上
    - GoogleChrome37以上
    - Safari6以上
  + 未対応ブラウザは、「よく寄せられる質問」に対応ブラウザを記載することで、判るようにする。

### 一般公開サイト

一般公開サイトに関する共通事項を記載する。

* + 一般公開サイトの検索・閲覧者向けページは、レスポンシブデザインとする。  
    （新規中小企業向けページ、および管理用サイトは、レスポンシブデザインに対応しない。）
    - * IE8については、ブラウザがレスポンシブデザインに必要な機能をサポートしていないため、対象外とする。（IE8に限り、レイアウト固定のCSSを適用する。また、営業品目のレイアウトは3列固定とし、営業品目が2つ以下の場合でも3列表示する。）
  + サイトのページ構成は、『**画面遷移図**』および『**画面仕様書**』を参照。

### 管理用サイト

管理用サイトに関する共通事項を記載する。

* + 管理用サイトは、検索エンジンのロボット検索の対象外となるようMETAを設定する。
  + サイトのページ構成は、『**画面遷移図**』および『**画面仕様書**』を参照。

## **Web API**

* + APIの利用は登録を必要としない。
  + APIの利用は、単位時間当たりの利用回数制限を設ける。（1時間あたり1000回等）
  + APIの詳細な仕様は、APIリファレンス（HTML）を作成し一般公開サイト上で公開する。

## **データベース**

テーブルの仕様は、『**データ仕様-ER図**』および『**データ仕様-テーブル定義書**』を参照。

### ファイアウォール

* + データベースへのアクセスは、Azure内部からのアクセス、および開発環境からのアクセスのみ許可するよう、IPアドレスのファイアウォールを構成する。

### バックアップ

本システムのデータベースは、次の２種類のバックアップがあります。

* 自動バックアップ。  
  Azure SQL データベースの組み込み自動バックアップです。
* 自動エクスポートによるアーカイブ。  
  Azure SQL データベースの自動エクスポートの設定により行われるバックアップです。

いずれも、Azureの標準機能を利用しています。

■自動バックアップ

　作成スケジュール：

完全データベース バックアップ＝ 1 週間に 1 回

差分データベース バックアップ＝ 1 日に 1 回

トランザクション ログ バックアップ＝ 5 分ごとに 1 回

　保有期間：14日 (データベースのサービスレベル Standard の場合。)

　保存先：Azure SQL データベースより追加コストなしで提供されるストレージ

参考：Azure SQL Database のバックアップと復元

<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/azure/jj650016.aspx>

■自動エクスポートによるアーカイブ

　作成スケジュール：

完全データベース バックアップ＝ 14日に 1 回（土曜AM0時）

　保有期間：90日（最大7回分）

　保存先：ストレージ（BLOB）の”automated-sql-export”コンテナ

参考：方法: Azure SQL Database でインポート/エクスポート サービスを使用する

<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/azure/hh335292.aspx>

* + **保有期間を過ぎたバックアップファイルは自動的に削除されます。保有期間を過ぎたバックアップファイルを保管する必要がある場合は、ダウンロードして保管して下さい。**

## **ストレージ**

【BLOB】

システムの設定ファイル、一部のコンテンツファイル、ログファイル、およびバックアップファイルの格納先として使用する。

【QUEUE】

システムのキュー（Webサイトとバックグラウンド処理の連携等）に使用する。（現行システムにおいては未使用。）

【TABLE】

システムのログの格納先として使用する。

ストレージに保存されるデータの詳細は、『**データ仕様-ストレージ**』を参照。

## **タスク処理**

毎日深夜2:00から、下記記載の処理を行う。

* + 開始時間は、サービス構成の「NightTask.StartTime」で定義

### 過去データの削除

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 処理 | 条件等 |
| 1 | IISログの削除 | 3か月保持 |
| 2 | パフォーマンスカウンタログの削除 | 3か月保持 |
| 3 | Windowsイベントログの削除 | 3か月保持 |
| 4 | トレースログの削除 | 3か月保持 |
| 5 | 企業情報の削除 | 削除フラグがONの企業情報（3か月保持）  却下された企業情報（3か月保持） |
| 6 | ユーザー情報の削除 | 削除フラグがONのユーザー情報（3か月保持）  Eメールが未確認のユーザー情報（3か月保持） |
| 7 | 通報情報の削除 | 3か月保持 |
| 8 | 履歴情報の削除 | 3か月保持 |
| 9 | APIアクセス回数の削除 | 3か月保持 |

* + No.1～4の保持期間は、サービス構成の「DeleteSetting.AzureLogStorageDays」で定義
  + No.5～9の保持期間は、サービス構成の「DeleteSetting.AppLogStorageDays」で定義

### 郵便番号データの補完

[郵便番号API](#_郵便番号API)が一時的に利用できない場合などで、[企業情報](#_企業情報)の都道府県コード、市町村コード（[住所](#_住所)を参照）が設定できない場合を考慮し、郵便番号APIから都道府県コード、市町村コードを再取得する処理。

* + 郵便番号マスタで都道府県コード、市町村コードが未設定となっているデータを対象に、郵便番号APIを実行し、郵便番号マスタのデータを更新する。

## **外部サービス**

システムが利用する外部サービス（Microsoft Azure に含まれないサービス）について記載する。

### DNS

* + 独自ドメイン名（＊.go.jp）で本システムのサイトへアクセスできるように、本システムのAzure クラウドサービス既定のURL（＊.cloudapp.net）へのCNAMEを設定する。
  + 本システムから送信されたメールがなりすましではない事をメールサーバーが確認できるように、SPFレコードを設定する　（※2015/3現在、メールサーバーのプラン上、SPFレコードは設定不可）

### メールサーバー

* + システムがメール送信時に接続するメールサーバーは、SendGrid（Azure向け特別無償プラン。月当たり25,000通送信可能）を利用する。
  + 次年度の検討仕様で、調達情報を新規中小企業者へメール配信する機能があるが、規模要件（300万社）を考慮すると、次年度以降メールサーバーの増強等が必要となる可能性がある。

### 郵便番号API

* + 住所の入力時に、郵便番号から住所を自動入力（入力支援）するためと、郵便番号から都道府県コード、市区町村コードを取得するために利用する。
  + APIは、全国郵便番号一覧（ http://yubin.senmon.net/service/ ）のXML-RPC APIを利用する。

# (第2章 機能仕様)

## **企業情報**

### 創業年数

（創業10年未満の中小企業者が「新規中小企業者」として定義される。）

* + 創業年数は、「設立年月日」より年度単位で計算する。  
    設立年月日が「2005年2月25日」の場合の年数は、2005年3月31日までを1年未満とみなし、2005年4月1日から1年以上とする。この場合、2015年3月31日までが設立日から10年未満となる。
  + 創業年数10年以上とみなされるデータは登録不可とする。
  + 「設立年月日」に未来の日付は登録不可とする。
  + 企業情報の検索において、創業年数が10年以上とみなされるデータは検索対象としない。

### 公開と掲載

* + 企業情報の公開に関するフラグとして、次がある。
    - 公開希望フラグ。新規中小企業者が公開を希望する場合にON。
    - 掲載フラグ。データ管理者が公開を許容する場合にON。
  + 公開希望フラグがON、かつ掲載フラグがONの企業情報に限り、一般公開サイトおよび Web API でデータを公開する。
    - [論理削除](#_論理削除)されたデータは除外する。
  + 公開希望フラグは、エントリー時の入力画面には表示せず、既定でONとする。（エントリー承認後の修正画面では表示し、変更可能。）

### 削除確認

* + 新規中小企業者が自身の企業情報を削除する場合は、登録メールアドレスに削除確認メールを送信し、メール内の一時ページへのリンクへアクセスすることで削除を完了する。（アカウント乗っ取りでの削除を抑制）
  + 管理者が企業情報を削除する場合は、登録者への確認やメール通知をしない。
    - 仕様調整会議より補足・・・「サイト上に、事務局の都合によって削除されることがあること、削除した理由説明は行わない事を明記する」

### 重複チェック

* + 「法人番号」が入力されたデータ間では、「法人番号」が重複するデータは登録不可とする。
    - 現行において、システムは「法人番号」を入力せずに登録することを許容する。（登録ページにおいて「法人番号」の入力欄は非表示とする。）
  + 「担当者メールアドレス」が重複するデータは登録不可とする。
  + [論理削除](#_論理削除)されたデータは、重複チェックの対象から除外する。
    - 将来的に、削除データの復元機能を実装する場合は注意すること。
  + 「事業者名」など、その他のデータ項目の重複は許容する。

### 検閲ロック

エントリー企業の確認中、複数の管理者で同じ情報を確認することを抑制する仕様。

* + 本機能の仕様は、「エントリー企業確認」画面から企業情報を表示した場合のみ有効。
  + 「エントリー企業確認」画面から企業情報を表示した際、対象の企業情報に一時的な付加情報として、「検閲ロックユーザー」「検閲ロックタイムアウト」を設定する。
  + 「検閲ロックタイムアウト」の期間中、他のユーザーで対象の企業情報を表示した場合は、“他の担当者が確認中である”旨を画面に表示し、「承認」「却下」の操作を制限する。
  + 「検閲ロックユーザー」「検閲ロックタイムアウト」は、検閲中ユーザーが他の企業情報を表示した際、またはログアウト操作を行った際にクリアする。（ブラウザを直接閉じた場合はクリアされない。）
  + 企業情報を表示したまま何も操作せずタイムアウト期間を過ぎてから「承認」「却下」操作を行った場合、他の担当者が対象の企業情報をロックしていなければ、「承認」「却下」操作は可能。他の担当者によりロックされている場合、エラーとする。
  + 「検閲ロックタイムアウト」の時間は、サービス構成” Time.CensoringTimeout”で定義する。（『**データ仕様-設定値一覧**』を参照）。

### 住所

* + 住所は、[郵便番号]および[住所]の2つのテキストボックスで入力する。
  + [郵便番号]から[郵便番号API](#_郵便番号API)を用いて[住所]を設定することを可能とする。
  + 企業情報を登録・更新する際、[郵便番号API](#_郵便番号API)を用いて都道府県コード、市区町村コードを取得し、データベースに格納する。
    - [郵便番号] の値が以前から変更されていない場合でも、APIで再取得する。
    - 入力された[郵便番号]がAPIで見つからない場合、登録・更新不可。
    - 郵便番号APIが一時的に使用できない場合、企業情報の都道府県コード、市町村コードは未設定で登録する。（登録エラーにはしない。）
    - データ標準仕様、およびAPIの説明として、都道府県コード、市区町村コードが未設定となる場合があることを明記する。
  + [住所]に入力されたテキスト値は、都道府県コード、市区町村コードには影響しない。
  + 都道府県を指定して検索する場合は、都道府県コードを対象に検索する。（検索時は[郵便番号]は影響にしない。）

### 検索

企業情報は、下表の各検索方法の１つまたは複合により検索可能とする。

|  |  |
| --- | --- |
| 検索方法 | 説明 |
| キーワード | 企業情報に含まれるテキスト情報項目の文字列の部分一致を検索。 |
| 設立年月日 | 企業情報の[設立年月日]を対象とする範囲検索。 |
| 営業エリア | 企業情報の[営業エリア]を対象とする検索。47都道府県からチェックボックスで複数指定可能。 |
| 営業品目 | 企業情報の[営業品目]を対象とする検索。チェックボックスで複数指定可能。 |
| その他 | 企業情報の[タグ] ([タグマスタ](#_特性マスタ)を参照) を対象とする検索。チェックボックスで複数指定可能。 |

* 複数の検索方法を指定した場合、検索方法間はAND条件とする。
* 同一検索方法内で複数の条件を指定した場合、検索条件間はAND条件とする。
* 各条件は任意入力とする。

【検索方法：キーワード】

* キーワード検索は、半角または全角スペース区切りで複数の条件を指定可能。
* キーワード検索の複数条件間の検索は、AND条件とする。
* キーワード全体は50文字以内とし、区切りは3つまでとする。
* キーワード検索の対象は、一部のテキストデータのみとする。（マスタ参照先のマスタ名は対象としない。）
  + 事業者名　（フリガナは除く）
  + 事業者名フリガナ
  + 事業PR
* 照合順序はJapanese\_CI\_AS。  
  （Japanese\_CI\_ASの比較動作）  
  ・大文字、小文字　　：区別しない　（aとAは同一）  
  ・アクセント　　　　：区別する　　（かとがは異なる）  
  ・ひらがな、かたかな：区別しない　（かとカは同一）  
  ・半角、全角　　　　：区別しない　（１と1は同一）

【設立年月日】

* 入力を省略した場合、[創業年数](#_創業年数_1)が10年未満とみなされる企業情報のみヒットするように検索する。

【検索の制限】

* 企業情報の検索に10秒以上時間がかかった場合、タイムアウトとする。
* 企業情報の検索結果は最大1000件まで取得し、1000件を超える場合はその旨を検索結果に表示する。

### 表示順序

* 各画面において指定可能な表示順序は、『**画面仕様書**』を参照。
* 事業者名で並び替える場合、[事業者名フリガナ]の文字コード順とする。
  + - [事業者名フリガナ] は、“株式会社”を除いた部分のふりがなを入力するよう促す。
    - 照合順序は[検索](#_検索)を参照

## **ユーザー**

### ユーザーの種類

本システムは、次の種類のユーザーを扱う。

（ログインを必要とするユーザー）

|  |  |
| --- | --- |
| ユーザーの種類 | 説明 |
| 新規中小企業者 | 一般公開サイトにて自社の企業情報を登録申請し、登録を承認されたユーザー。  新規中小企業向けページでログインし、自ら登録した企業情報に限り、修正・削除が可能。 |
| データ管理者 | 管理用サイトにて、データの管理機能を利用できるユーザー。 |
| システム管理者 | 管理用サイトにて、全ての機能を利用できるユーザー。 |

（ログインを必要としないユーザー、または概念的なユーザー）

|  |  |
| --- | --- |
| ユーザーの種類 | 説明 |
| サイト利用者 | 一般公開サイトを利用するユーザー。 |
| API利用者 | Web API を利用するユーザー。 |
| SYSTEM | バッチ処理等、システムが自動でデータを変更する場合に、操作履歴に記録されるユーザー。 |
| 認証されていないユーザー | ログイン失敗の操作履歴に記録されるユーザー。 |

### ID、パスワード

【ユーザーID】

* + 新規中小企業者の担当者情報「メールアドレス」を、ログイン時に入力するユーザーIDとする。
  + データ管理者、システム管理者も、「メールアドレス」をユーザーIDとする。
  + メールアドレスは、大文字小文字を区別しない。大文字で入力されたIDは、データベースに保存する際、小文字に変換して保存する。

【ユーザーの無効化】

* + システム管理者は、他のシステム管理者またはデータ管理者を管理画面で無効化できる。
  + 無効化されているユーザーは、ログイン不可とする。
  + ログイン中に無効化されたユーザーは、ページ遷移時、ログイン画面へ遷移する。（セッション切れのメッセージが表示される。）
  + 新規中小企業者は無効化の対象外（管理者メンテナンス画面に表示されない）。

【ユーザーのロックアウト】

* + 同じユーザーIDに10回連続でパスワードを間違えた場合、対象ユーザーをロックアウトする。
  + ロックアウト時間は30分。
  + 最初に間違えた時間から30分以内に既定回数間違えた場合、ロックアウトする。最初に間違えた時間から30分経過すると、間違えた回数はリセットされる。

【パスワード強度】

* + パスワードは8桁以上（最大100桁）とする。
  + パスワードに入力される文字の種類組み合わせが、一定以上複雑となるようにする。（英大文字、英小文字、数字、記号をすべて含む）
  + 使用できる記号は（` ~ ! @ # $ % ^ & \* ( ) \_ - + = { } [ ] \ | : ; " ' < > , . ? /）とする

http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-vista/tips-for-creating-a-strong-password

* + パスワードに入力可能な文字は、半角英数記号とする。
  + パスワードに他のシステムで利用しているパスワードを設定しないよう注意を促す。

【パスワード発行（新規中小企業者）】

* + エントリーが承認（または非掲載の上の仮承認）された場合、新規中小企業者のメールアドレスへパスワード設定のための一時ページへのリンクを含むメールを自動送信する。
  + 新規中小企業者は、一時ページ上で自らパスワードを入力・設定する。（メールにパスワードを記載するのはセキュリティ上好ましくない。）
  + この一時ページの有効期限は24時間とする。
  + 一時ページの有効期限を過ぎてしまった場合、ユーザーは後述の「パスワード再設定」により新たに一時ページを発行できる。

【パスワード発行（データ管理者、システム管理者）】

* + システム管理者によりデータ管理者（またはシステム管理者）が追加された際、追加された管理者のメールアドレスへパスワード設定のための一時ページへのリンクを含むメールを自動送信する。
  + その後の仕様は新規中小企業者と同様。

【パスワード再設定】

* + ログイン画面にパスワードの再設定を行うためのリンクを設置する。
  + ログイン画面上でメールアドレスを入力し、パスワード再設定リンクをクリックすることにより、入力したメールアドレス（DBに登録されている場合）宛にメールを送信する。
    - * メールアドレスがDBに登録されている有効なメールアドレスではない場合、メールは送信せずエラーメッセージを表示する。
  + メールには、パスワードの再設定を行う一時ページへのリンクを掲載する。
  + 一時ページで「新しいパスワード」を入力することで、パスワードを再設定可能とする。
  + この一時ページの有効期限は6時間とする。

【パスワード変更】

* + ユーザーが自身のパスワードを変更する場合、現在のパスワードの入力を必要とする。（一時ページでのパスワード再設定時を除く）
  + ユーザーが他のユーザーのパスワードを変更する場合（システム管理者のみ）、現在のパスワードの入力は不要とする。

【その他】

* + ユーザーの利便性を考慮し、パスワード変更を強制する（パスワード有効期限）機能は実装しない。
  + パスワードの最終変更日は記録しておく。

### セッション

【セッション】

* セッションの制限時間は30分とする。
* セッションの制限時間は、ページ遷移またはフォーム送信により、リセットされる。
* セッションの制限時間を超えた状態で、ページ遷移またはフォーム送信が行われた場合、セッションの有効期限が切れた旨のメッセージボックスを表示し、ログイン画面に遷移する。
* 同一のユーザーIDで同時ログインは禁止する。（後にログイン試行した側はログイン不可。）

【ログアウト】

* ログイン後の各ページに、[ログアウト]ボタンを設ける。
* [ログアウト]ボタンが押下された場合、セッションを削除し、ログイン画面に遷移する。

### アクセス制御

【IPアドレスによる制御】

* + [ユーザーの種類](#_ユーザーの種類)で定義されている単位に、IPアドレスによるアクセス制御を可能とする。
  + IPアドレスによるアクセス制限の設定は、SQLデータベースの管理ポータル上で行うものとする。
    - 設定手順はマニュアルに記載する。

【同一IDによるアクセスの制限】

* + 既にログイン済みのユーザーIDでログインを試行した場合、既にログインされている旨のメッセージを表示し、ログイン不可とする。

【その他のアクセス制御】

* + 利用時間や利用時間帯によるアクセス制御　は実装しない。
  + 同時利用者数によるアクセス制御　は実装しない。

## **マスタデータ**

【マスタデータの表示順序】

・特に仕様が存在しない限り、次の順序で並び替えて表示する。

・項目[表示順序]を持つ場合、表示順序で優先して並び替える。

・項目[ふりがな]を持つ場合、加えてふりがなで並び替える。

【マスタデータの変更】

マスタデータを変更するための登録サイトの機能は存在しません。

マスタデータを変更するにはデータベースのマスタテーブルを直接変更する必要があります。

### エリアマスタ

* + 省庁統一資格審査制度での分け方で、都道府県を8区分した地方のマスタ。
  + 北海道、東北、関東・甲信越、東海・北陸、近畿、中国、四国、九州・沖縄。

### 都道府県マスタ

* + 47都道府県。(JIS X 0401)

### 市区町村マスタ

* + 都道府県毎の市区町村(JIS X 0402)　を格納するマスタテーブルは持たない。
    - 市区町村に変更があった場合にメンテナンスを要するため。
    - 企業情報の市区町村コードには、[郵便番号API](#_郵便番号API)で取得された市区町村コードを格納する。

### 営業品目マスタ

* + サービスカテゴリマスタ（大分類）、サービス種類マスタ（中分類）、サービスマスタ（小分類）の３階層で定義する。（『**データ仕様-マスタデータ定義**』参照）
  + 物品、役務は、「[統一資格審査申請・調達情報検索サイト　申請書記入要項（新規・更新申請）（PDF）](http://www.chotatujoho.go.jp/va/com/pdf/guide_yusojisan.pdf) 」を基とする。
  + 工事は、国土交通省「[【工事競争参加資格審査申請書作成の手引き[インターネット編]（平成27・28年度版）】](http://www.mlit.go.jp/chotatsu/shikakushinsa/kensetukouji/index.html)」を基とする。

### タグマスタ

* + 企業情報の入力時、チェックボックスで法令等への適合性などを入力させる項目のマスタ。
  + 「障害者就労施設等からの物品等の調達（障害者優先調達推進法）の該当」、および「国等による環境物品等の調達（グリーン購入法）の該当」は、このマスタに定義。

## **メール送信**

* + システムが送信するメールは、送信者を業務担当者用のメーリングリストのアドレスとする。
  + 送信するメールの内容については、『**機能仕様-メール送信一覧**』を参照。

## **その他共通事項**

### 日時

* + 日時をデータベースに格納する場合、日本時間で格納する。
  + 日時を入力する場合、西暦で入力する。（yyyy/M/d）
* 日時を入力するボックスには、フォーカスによりカレンダーコントロールが表示されるようにする。（特に仕様がある場合を除く。）
  + 日時を表示する場合、西暦で表示する。（yyyy/M/d。月・日の0埋めは特に仕様がない限り行わない。）
  + APIで日時を返す場合、ISO8601形式で日本時間を返す。（時差の表記は省略する。）  
    （2015/1/21 AM9:00の例）”2015-01-21T09:00:00”

### 文字コード

* + システムとしてはUnicodeを用いる。
  + 文字コードのチェックは行わない。

（JIS X 0213と機種依存文字について）

* JIS X 0213第三～第四水準には、いわゆる機種依存文字の代表であった丸囲い数字なども含まれる。
* Windows Vista (2007年発売) 以降、Mac OS X v10.5 (2007年発売) 以降に標準搭載されるフォント、および、IPAが公開するフリーフォントは、JIS X 0213:2004に対応しており、旧来の機種依存文字は、機種に依存せず表示可能となってきている。（どちらかというと利用フォント依存）

（第一～第二水準までに入力制限すべきかの検討情報）

* 第一～第二水準のみ登録可能とする事で、検索者が事業者名を検索しやすくなると考えられる。  
  （参考として法人番号APIでは、縮退した文字を予め登録しておくことで、“高”と“髙”のあいまい検索を可能とするようである）
* 電子メールの主な符号化方式はISO-2022-JPである。（Wikipediaより）
* 法人番号APIでは、第一～第四水準の文字、または第一～第二水準に縮退した文字での情報取得が可能となる予定であるので、将来的に本システムが法人番号APIから情報を取得する際は、第一～第二水準に縮退した文字での情報取得を行うことになる。

### 論理削除

* + [企業情報](#_企業情報)および[ユーザー](#_ユーザー)について、サイトより削除操作を行った場合、データベースからレコードは削除せず、「削除フラグ」をONにすることによって削除状態を示す。（論理削除）
  + 論理削除されたデータは、一般公開サイト、Web API、管理用サイトのいずれにおいても表示しない。ただし、操作履歴一覧（システム管理者用）には削除されたデータとして表示する。
  + 論理削除されたデータを復元する機能は提供しない。
  + 論理削除されたデータは、[過去データの削除](#_過去データの削除)にて一定期間後に完全に削除される。

### 登録後の変更に制限のあるデータ項目

画面で入力可能なデータ項目のうち、登録後の変更に制限のあるデータ項目。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| データ | データ項目 | 制限 | 備考 |
| 企業情報 | 法人番号 | 制限あり | 入力有り→未入力への変更は不可。  ※今年度の仕様では、入力枠は非表示（未入力で登録） |
| ユーザー | メールアドレス | 変更不可 | アカウントの乗っ取りが発生した場合に、メールアドレスを変更できてしまうと、アカウントを取り返せなくなる場合がある。 |
| ユーザー種別 | 変更不可 | データ管理者からシステム管理者（あるいはその逆）への変更は不可。 |

### 入れ違い登録の抑制

* 複数のユーザーが単一のデータを同時に編集した際に、先に登録したデータが後に登録したデータで上書きされ失われることを抑制するため、データの登録時に下記判定を行い、「入れ違い登録」と判定された場合はエラーとする。

（判定ロジック）

* セッション毎に、サーバーからデータを取得（表示）した日時をクライアント側で記憶する。
* データを更新する際、クライアント側で記録しているデータ取得日時を、更新するデータとともにサーバーへ送信する。
* データベース上のデータ更新日時と、クライアントから受信したデータ取得日時を比較し、データ取得日時よりデータ更新日時が新しい場合は、「入れ違い登録」と判定する。

### 処理中表示

* + サイトでの操作（検索など）において、時間のかかる事が想定される操作には、処理中であることを示す表示を行う。
* 性能テストで問題がなくても、アクセス増加等により時間がかかる可能性があるため、処理中表示は実装しておく。

### テキストデータの表示

データベースに保存されたテキストデータ(※1)を画面上（HTML）に表示する場合、クロスサイトスクリプティング対策（<script>タグなどがそのままHTMLへ出力されることにより、スクリプトが実行されてしまうのを防ぐ）として、HTMLエンコードして表示(※2)する。

そのため、データに<a>タグでハイパーリンクを設定したとしても、<a>タグがそのままテキストとして表示される。

ただし、特別に仕様が存在する場合を除く。(※3)

※1 事業者のPRなど。

※2 改行を<br/>に置き換え、改行以外の部分をHTMLエンコードして表示する。

　　なお、テキストデータにhttp://またはhttps://から始まる文字列があった場合は、

　　http://またはhttps://から、次に示す文字が始まる前の位置までをハイパーリンクで表示する。

　（ハイパーリンクとして認識されない文字）

空白文字、改行文字、タブ文字、半角/全角スペース文字、および次の記号以外の記号

. $ , ; : & = ? ! \* ~ @ # \_ + / -

※3 よく寄せられる質問、お知らせ　のデータは、リンクを含めることが想定されるため、HTMLエンコードの対象外とする。

### 存在しないデータの表示

* + 検索実行時には存在したデータが、検索結果一覧から詳細を表示するまでに削除や非公開となった場合、詳細画面では「データが見つかりませんでした。（削除または非公開となった可能性があります。）」と表示する。

### ページングの制限

* + 検索結果一覧で「前のページ」「次のページ」によりページを移動（ページング）する場合、システムは情報を再検索する。そのため、ページング前後で総件数が変わる場合がある。（企業情報の掲載状況変更や、営業品目の変更などにより、検索条件にヒットするデータが増減する。）  
    また、次の例の場合、ページングで参照される企業情報に抜けが発生する場合がある。

（ページングで参照される企業情報に抜けが発生する例）

* + - * 1. 表示件数20件で、1ページ目を表示
        2. 20件目の企業情報が非掲載に変更
        3. 「次のページ」をクリックし、2ページ目を表示すると、「次のページ」クリック時点で再検索され21件目～40件目が表示されるが、元々21件目だった企業情報が②の操作により20件目となり、  
           元々の22件目～41件目が表示される。（元々の21件目が抜ける）